



片瀬山防災会

# 片瀬山防災だより

第3号 2007年3月31日

防災会が目指していること：

☆各家庭での防災の備え ☆近隣助け合いの防災づくり ☆片瀬山全体での防災づくり  
いざという時、ご近所とのつながりは大切です。一番良い方法を皆で考えましょう！

## 団塊世代と子供達と防災会：

「2007年団塊世代は？」とマスコミは騒がしい。この世代の兄貴分として感じることは「ゴチャゴチャと大きなお世話だ」とも言いたくなる。

しかし、「好きな事をやって暮らせばいいではないか」では済まされないようだ。

片瀬山北公園に若いママさんと子供たちが多く見られるようになってきた。

平和な風景は見ているだけでも楽しく、素晴らしい。安全・安心の街づくりは地道な活動です。

少しでもお役に立てれば、長生き出来るような気がする。（1丁目 仁科修二）



## 防災委員になって：

会長にならない為にと防災に手を上げた時から人生が変わった。気が付けば任期は2年。

夕食の支度をし会合に出席すれば「カレーの日が増えた」と息子に言われ、出てみれば  
難しい顔の方々ばかり。「何でこんな場違いな所に」と思ったが後の祭。

開き直り、楽しくやろうと早や1年、こんな私も防災に対する意識が変わってきた。

自然災害に対し無力な私達。無力だからこそ無限の力と勇気の力が秘められている事に  
気が付いた。（2丁目 青木由紀子）



## 地震 かみなり 火事 おやし：

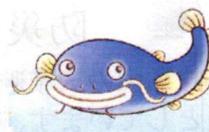
「わざわざは忘れた頃にやってくる」 天災を止めることは出来ません。

起こった時に被害を少なくするかです。普段からの心構えと準備が必要です。

人災は防ぐことは可能です。片瀬山でも引ったくり、空き巣が発生しています。

皆さん、防犯パトロールに積極的に参加し、片瀬山から犯罪をなくしましょう。

お互いに火事にも気をつけましょう。（3丁目 やぶにらみ・・・前原富男）



## 片瀬山で災害が起こったら？：

今、もし片瀬山で、「関東」や「阪神淡路」クラスの地震が起きて、ライフラインも止まってしまう

ような大災害となり、避難しなければならなくなったら、我々片瀬山の住民はどうした

らよいか？避難施設として、片瀬中学校があることは知っている。

しかし、それをどう使うのか？我々住民自身にそれを運営する体制ができていいのか？

そのような問題意識をもって、自主防災会を活性化させる必要があることを訴え続けて

きました。いろいろご批判も受けました。しかし、連合自治会がそれを受け止めてくだ

さり、今、その願いが実現しつつあります。嬉しいことです。（4丁目 渡邊芳包）



## 厚底の靴、ご近所、みんな一緒に：

災害時に近隣ネットが如何に必要なか、阪神大震災経験者から聞いた話。

高層マンションに住む家族が「厚底の靴を履いて！」と声をかけながら玄関を出ると、

向かいの老夫婦が脅えておられ、「ご一緒に行動しましょう」と隣のスポーツセンター

に避難。数家族の方々と情報も無く不安でいた時、たまたま出合った知人に「皆、小学

校に居るよ、おいで」と声をかけられ移動した。

次々に襲って来る余震は大勢でいるから凌げた。（片瀬山の住民）



## 近隣ネットづくりの第一歩：

自治会毎に近隣ネットをつくることを決定したのに伴い、先陣を切って五丁目自治会はアンケート調査を12月～1月に掛けて実施しました。約300世帯のうち8割を超える回答が得られました。

A：自分のことで精一杯	23世帯	(7.8%)
B：安否確認はしてほしい	30	(10.1%)
C：ご近所の安否確認くらいならできる範囲でやれる	132	(44.6%)
D：ある程度行動力があるのでご近所の手助けはできる	44	(14.9%)
E：防災ボランティアとして防災活動に関わってもよい	6	(2.0%)
白紙回答（調査に不賛同）	4	(1.4%)
未回答	57	(19.3%)



未回答の中には、調査拒否、不在で接触できずなどが含まれています。

またA(自分のことで精一杯)の回答のほとんどが仕事をしているので周りのことに手が出ないという共働き世帯などのケースです。高齢者だけの世帯ではBを選んでいただいているようです。

今後、今回のアンケート調査でD及びEを挙げていただいた方々に呼び掛けて近隣ネットづくりを進めていくことにします。(写真はアンケート作りにご腐心された5丁目の小瀬さんと櫻井さん)

## 19年度の活動体制：

各丁目自治会役員が新しく選出され、片瀬山防災会も19年度の活動に向けて再編成されました。

19年度の防災会はプロジェクトチームを編成して活動を進めることにしました。

プロジェクト毎にリーダーとサブリーダーを決め、それぞれにスタッフを配置して、担当事項を推進する役割を担ってもらいます。プロジェクトは下記の通りです。

- (広報活動) ・ 防災だより発行 ・ 防災マニュアルの整備 ・ 防災講演会の開催
- (防災体制強化) ・ 防災訓練兼避難訓練の実施 ・ 避難施設運営組織編制への備え
- ・ 自治会、防災会関係者の防災ゼミナール開催 ・ 近隣ネットづくり
- (行政対応) ・ 自主防災組織地域協議会への参加 ・ 避難施設運営協議会への参加

## 防災の知恵：避難場所へ助け合って行動しましょう

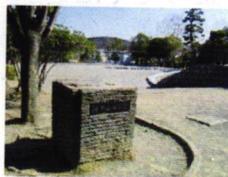
片瀬山の広域避難場所は片瀬中学校です。また、片瀬山各自治会は一時避難場所を下記の5箇所の公園としています。避難先までは複数の経路が必要です。むやみに避難せず、地域での安否確認などを行い、一人ひとりが協力し助け合い、まとまって(集団で)行動しましょう。



片瀬山西公園



片瀬山北公園



片瀬山南公園



広域避難場所：片瀬中学校



片瀬山東公園

編集後記：編集委員は本澤、青木、長島、鈴木、宇田川、佐藤、仁科です。各自治会からの寄稿で構成しました。年4回発行予定。ご協力をお願いします。



片瀬山防災会

発行：片瀬山防災会

〒251-0033 神奈川県藤沢市片瀬山3-22-9

電話・ファックス：0466-25-6739 (岩本義久)